

## ひので映画大使最新版

## 第40回映画大使「風立ちぬ」

期 日 平成25年7月4日(木) 試写会にて開催  
 場 所 イオンシネマ日の出

## 【作品紹介】

大正から昭和にかけ、震災、不景気、そして戦争と、暗く不安な時代に、飛行機への設計に情熱をかけた一人の若者と、彼をとりまく人々、そして愛する人との出会いと別れを描きます。

零戦を設計した実在の人物・堀越二郎の半生を、作家・堀辰雄の小説「風立ちぬ」の舞台に融合させた物語です。

「崖上のポニョ」から5年、宮崎駿監督が贈る「人間ドラマ」です！

主人公・堀越二郎の声には「エヴァンゲリオン新劇場版」などのアニメーション監督・庵野秀明、ヒロインの菜穂子には女優・瀧本美織、他にも西島秀俊、西村雅彦、國村隼、野村萬斎らがキャラクターに命を吹き込みます。



(C)2013 二馬力・GNDHDDTK

## 映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

## ● 映画大使の「第一声！」

待望の宮崎アニメの新作にワクワク！

メッセージ性の強い作品でした！

相変わらずの丁寧な描写のため息…

観た人がそれぞれ違う感想を持つ作品だと思います！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

## ● 映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

宮崎監督の新作ですが、考えさせられる部分が沢山ありましたね。関東大震災の描写などはびっくりしました。観ている内に引き込まれましたが、自分の感想より、他の方の感想を早く聞いてみたい、そんな作品でしたね。

Bさん

感想を言うのが難しい作品、そういう印象ですが、宮崎作品という事で、景色の描写に癒されました。中盤に進むにつれて、どう捉えていいのか、分かりづらいと思う場面もありましたが、作品的には素晴らしかったですし、震災のシーンにはメッセージを感じました。

Cさん

素晴らしく、引き込まれる作品だったのですが、私も、何て感想を言っているのか分からない印象ですね。飛行機への憧れや設計士になる夢、皆で飛行機を造り上げている様子などは興味深く観れました。映像も素晴らしかったのですが、ラストも含め、本当に感想を言うのが難しいです。後になって色々と思うのかもしれないね。

Dさん

今までの宮崎作品とは印象が違いますね。明治、大正、昭和が描かれていて、関東大震災や、昔の計算尺など、今の人には分からない描写だったのかもしれないね。今回の作風は、ほんわかした感じで、ごく普通の日常を描いているから、感想を言いにくいのかもかもしれません。観終わった後、温かい気持ちになりました。

Eさん

観た人のその時の状況によって、感想は変わると思います。仕事や恋愛などの部分でそれぞれ感情移入していくでしょう。「この夏、いい夏です」というドイツのおじさんのセリフが良かった！

これは命を題材にしている作品だと思います。辛い事とか悲しい事、成功した部分と失ったもの、それらの葛藤などがありました。根底にあるのは「生きているからこそ」という色々な想いを感じる事が出来るのであり、自分にどんな風が吹いてきても、それに向かっていかねばならない、というメッセージだったのかなと、私は感じました。

Fさん

未来があるというのは凄い事なんだと思いました。病気の菜穂子さんにとって、未来へ向け頑張っている二郎さんの姿を太陽みたいと感じているのが伝わってきました。やりたい事があっても、なかなか行動を起こせない時があるのですが、今しかできないことに対し、結果を恐れずに行動するのは、それだけで意味のある事なんだと思いました。行動を起こす意味での、「生きねば」というメッセージだと思いました。ジブリの作品は大好きですが、スピードや動きなどジブリらしい描写が満載で、迫力があって、さすがだと思いました。二郎さんのおっとりしているけど、芯が通っていて、自分のやるべきことをやっている姿に励まされました。

Gさん

冒頭の大震災の映像や音に驚かされました。特に音は単に「ゴー」という音ではなく、人の声のような、単純な音ではなかったと思いました。揺れ方も波のように揺れていて、そういう表現が変わっているなどと思いました。飛行機の効果音も良かったです。二郎さんは夢を叶えられても、飛行機は結局、人の命を奪う道具としかならなくて、残酷だと思いました。

### ● 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・群衆シーンで一人一人が違う動きをしているあたりも、凄い作画力だと思います。
- ・久石譲さんの音楽も毎作品いいですね。ユーミンの主題歌「ひこうき雲」も良かった！
- ・飛行機を造りたいのに、結局それが戦争に使われてしまったり、仕事って、夢を持ってやっても、現実には色々あったりしますよね。そういう矛盾とか、夢と現実の違い、思い通りにいかない事もあるんだというのを、ファンタジーっぽい夢のシーンを織り交ぜることで、伝えたかったのかなと思いました。
- ・飛行機好きの宮崎監督らしい作品ですよ。
- ・仕事や恋愛、生きる事など色々な要素が詰まった作品ですよ。年代によっても見方は変わると思います。
- ・子どもにも是非見て欲しい。
- ・実写だと、少しキツイ画面になっていたかもしれません。宮崎さんの優しい絵と音楽で、よかったです。
- ・ラストの二郎さんの白いスーツ姿が印象的でした。
- ・宮崎作品はいつも観終わった後、温かい気持ちになりますよね。
- ・二郎さんの声も自然な感じで良かったです。
- ・夢は持たないといけないんですね。そして生きねば！

### ● まとめ

スタジオジブリ、そして宮崎駿監督の最新作は今までの「ファンタジー」ではなく、「人間ドラマ」でした。主人公は女の子でも、妖精でもない一人の男性ですが、夢を叶えるための物語でもなく、またサクセスストーリーという趣きでもありません。そのプロセスは描かれますが、あくまで物語の要は「生きる事」の喜びと、「生きていく事」の尊さにあります。

夢中で飛行機を造っても、結局、「戦争」という殺人にそれが使われてしまった事や、愛する人との束の間の幸せ・・(今までの宮崎アニメにはない大人の恋愛模様が描かれます)。ファンタジーではなく、震災や戦争、病気などを交え、あえてリアルに、しかも淡々と描く事で、「生きねば」というメッセージが、より際立ったように感じます。

観た方それぞれで、感想が異なると思います。あなたの心にはどう残るでしょうか・・。自然や人間描写の素晴らしさは秀逸の一言、是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

### ● ジブリの巨大壁画が出現！

現在、イオンシネマ日の出では、「風の谷のナウシカ」をはじめ、ジブリの21作品のシーンなどを刻んだ巨大な壁画が掲示されています。劇場売店の上に目を向ければ、数々のキャラクター達が、あなたを出迎えてくれます！



今後、1年ほど掲示されるとの事です！ (C)Studio Ghibli

➡ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

➡ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

**問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係**  
電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町平井2780番地 電話 042-597-0511(代表)  
Copyright © 2011 Hinode Town All Rights Reserved.

[サイトマップ](#) | [このサイトについて](#)